

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
北海道知事 殿	<p style="text-align: center;">提出者</p> <p style="text-align: center;">住 所 北海道〇〇市〇〇丁目〇番地の〇</p> <p style="text-align: center;">氏 名 〇〇会社北海道</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 北海道太郎</p> <p style="text-align: center;">(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p style="text-align: center;">電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">※代表者印・社印の押印は不要です。</div> <p style="margin-top: 20px;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>
事業場の名称	〇〇会社北海道 〇〇工場
事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇番地の〇 住居表示の場合は〇番〇号
計画期間	〇〇年〇月〇〇日～〇〇年〇月〇〇日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06総合工事業、09食料品製造業 など 日本標準産業分類の区分
②事業の規模	〇〇, 〇〇〇万円 製造業:製造品出荷額、建設業:元請完工高等 ※病院は病床数など
③従業員数	〇〇〇人 事業場の従業員数
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥 自社で中間処理(脱水)→処理業者へ委託 ・廃プラスチック類 再生処理業者へ委託→原料として再資源化 ・木くず 再生処理業者へ委託→木材チップとして再資源化 ・がれき類 再生処理業者へ委託→再生砕石として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>・管理体制図には役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載してください。 (個人名は記載しない)</p> <p>・既存資料の添付も可ですが、個人名は削除してください。 ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付か枠を増やしてください(以下同じです。)	
	産業廃棄物の種類	がれき類 汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t 〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (これまでに実施した取組) ・ 余剰材の引き取り ・ 書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。	
②計画	【目標】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付	
	産業廃棄物の種類	がれき類 汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t 〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (今後実施する予定の取組) ・ 梱包材の簡素化 ・ 書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 石綿含有産業廃棄物については、他の廃棄物に混入しないよう確実に分別保管を実施。 ・ 書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、紙くずについても分別を実施。 ・ 書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (これまでに実施した取組) ・特に実施していない。 ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。		
②計画	【目標】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (今後実施する予定の取組) ・木くずを再利用し木質燃料ペレット化。など ・特に予定していない。 ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (これまでに実施した取組) ・脱水できるものは脱水する。など ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。			
②計画	【目標】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (今後実施する予定の取組) ・再生利用に係る選別施設等の設置を検討する。など ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度〇〇年度）実績】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (これまでに実施した取組) ・特に実施していない。 ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。		
②計画	【目標】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。 ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（〇〇年度）実績】 ↓ ↓ 種類が3以上の時は別紙添付		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
↑ ↑ 枠を増やした書式を独自に作成することも可 (これまでに実施した取組) ・北海道循環型社会形成の推進に関する条例に基づき、廃棄物処分の実施状況を確認、記録。など ・書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。			

②計画	【目標】	↓↓種類が3以上の時は別紙添付	
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	↑↑枠を増やした書式を独自に作成することも可 (今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者に委託する。など		
	書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

記載例別紙1

「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」「④産業廃棄物の一連の処理の工程」の記載方法について

産業廃棄物毎に主な処理工程を、次の「発生」→「処理」→「処分・利用」の順に、簡潔に記載してください。

横書きでも、縦書きでも結構です。

また、工程が同じであれば、複数の産業廃棄物の種類をひとつの工程でまとめてもよろしいですが、産業廃棄物の種類名は記載してください。

「発生」：主な発生原因の工事、事業、作業の内容です。

発生抑制、排出抑制できるものかどうかの情報でもあります。

例：構築物解体工事、土木工事、建築工事、食品製造工程、養豚事業、養鶏事業など

「処理」：自己処分・利用の前に、委託処理・処分の前に行った処理です。

例：梱包、分別、脱水、破碎、燃料化、堆肥化、高温高压処理など

「処分・利用」：自己処分、利用の場合

例：圃場での堆肥としての利用、ボイラーでの利用、自己埋立処分場など

委託の場合は委託内容

(委託契約書の契約内容(添付の許可証の「事業範囲」の内容を参照))